

「山水会だより」

「阿弥陀堂だより」2002年の松竹映画、小泉堯史監督、樋口加奈子と寺尾聡が好演していました。奥信濃の美しい四季と共に綴られる名作映画です。心を病んだひと組の夫婦のこころ温まる再生の物語です。山水会だよりとは全く関係はありません。

全国的なコロナウイルス感染拡大の為、中止されていた山水会が1年振りに7月21日（水）に開かれました。大都市は感染が未だに止まりませんが、大分市は比較的落ち着いている事。山水会のメンバーは皆70歳以上でコロナワクチン接種が終了している事などを考慮して今回の開催となりました。

宴会前の講演は中止、会場もクドウホテルから大分センチュリーホテル1Fの「レストラン・カテリーナ」での開催となりました。今回の出席は13名。加藤英彦会長による生ビールでの乾杯の後、すぐに懇談となりました。四極会本部の柴田局長から100周年への協力のお願いが、主に寄附の話と絡めてありました。次いで、新任の事務局長（常務理事）の荒川孝二氏（26回生）のあいさつがありました。

山水会の正式メンバーの出席は8名のみでしたが、大分支部長高井氏(21回)、野尻市議会議長(24回)、衛藤参議の秘書の平松氏、四極会事務所の大園女史(34回)も加わり、日頃の個別飲みの反動もあるかのような早いピッチでビールと日本酒が進んでいきました。今回は臨時の様子見なので1時間30分を限度としました。



次回9月には講師も呼んで、会場もビジネスホテルクドウで開けるか？微妙なところですが、8月末のご案内をお待ちください。

今回、山水会メンバーの参加は 足立好範(12回) 帆足三郎(13回) 加藤英彦(14回) 定松亨(16回) 丸井弘美(16回) 加賀田壮二郎(16回) 柴田宏二(17回) 岩尾明(20回・院32回) 以上、敬称略

山水会 副会長 加賀田壮二郎(大学16回)